



Design Guideline of Public Signs in Suita

吹田市 公共サイン
デザインガイドライン

目次

第1章 総論

1-1. ガイドラインの目的	3
1-2. ガイドラインの位置づけ	4
1-3. 現状と課題	5
1-4. 公共サイン設置の基本方針	6
1-5. ガイドラインの対象範囲	7

第2章 公共サイン設置の考え方

2-1. 設置にあたっての流れ	11
2-2. デザイン	13
2-3. 維持管理	28
2-4. 仮設サインの配慮事項	30

参考資料

ピクトグラム図集	35
日・英対応翻訳表	45

第1章 総論

- 1-1 ガイドラインの目的
- 1-2 ガイドラインの位置づけ
- 1-3 現状と課題
- 1-4 公共サイン設置の基本方針
- 1-5 ガイドラインの対象範囲

1-1 ガイドラインの目的

公共サインとは、不特定多数の人々に向けて、都市の地理や施設など、基本的な情報の伝達や、公共空間での禁止事項、注意事項について伝える方法のうち、主に公的機関が公共空間そのものに掲示物を設置して行う手法の総称です。年齢や国籍、状況などに関わらず、できるだけ多くの人に伝わるデザインが求められています。また、店舗等に設置されている民間の屋外広告物と同様に、周囲のまちなみとの調和を図ることで、良好な景観を生み出す要素となるほか、歴史や文化、自然など、色彩やデザインに地域らしさを取り入れることで、より豊かで快適な都市環境の創出につながります。

吹田市内には、公共施設や観光施設への案内誘導サイン、観光施設にある歴史・文化を記した文化財サイン、路上喫煙や放置自転車を禁止するサイン等、多くの公共サインが設置されています。

本市では、令和4年度より、「吹田市屋外広告物ガイドライン」の運用を開始し、民間事業者に対し、屋外広告物の大きさ、色、維持管理等について指導・誘導を行っています。公共サインについても、景観との調和を図り、わかりやすく効果的なサインとなるよう、今般、市内全域にさまざまな部署により設置される全ての公共サインを対象とし、サイン設置に関する基本方針を整理するとともに、設置に関する考え方(表記方法、文字サイズ、維持管理、形態、素材、色彩等)を示した吹田市公共サインデザインガイドラインを策定しました。このガイドラインは、みんなにわかりやすい公共サインにより、市民や来訪者の利便性及び安全性の向上を図るとともに、良好な景観形成を図ることを目的としています。

【 ガイドラインを活用するにあたって 】

サイン計画を行う場合、原則として、ガイドラインに沿った計画としてください。

ただし、施設やエリア等で独自のコンセプトを設定する場合は、景観担当との協議の上でガイドラインに準拠しないことも可能とします。

「第2章 公共サイン設置の考え方」の中で右図のようにグレーのカラーで囲われている部分は準拠しない場合の例を紹介しています。

サイン計画を行う上で、景観面で不明な点がある場合は、景観アドバイザー会議を活用することも可能ですので、景観担当までご相談ください。

● ガイドラインに沿わない色彩を使用する場合



(例) 北大阪健康医療都市(健都)

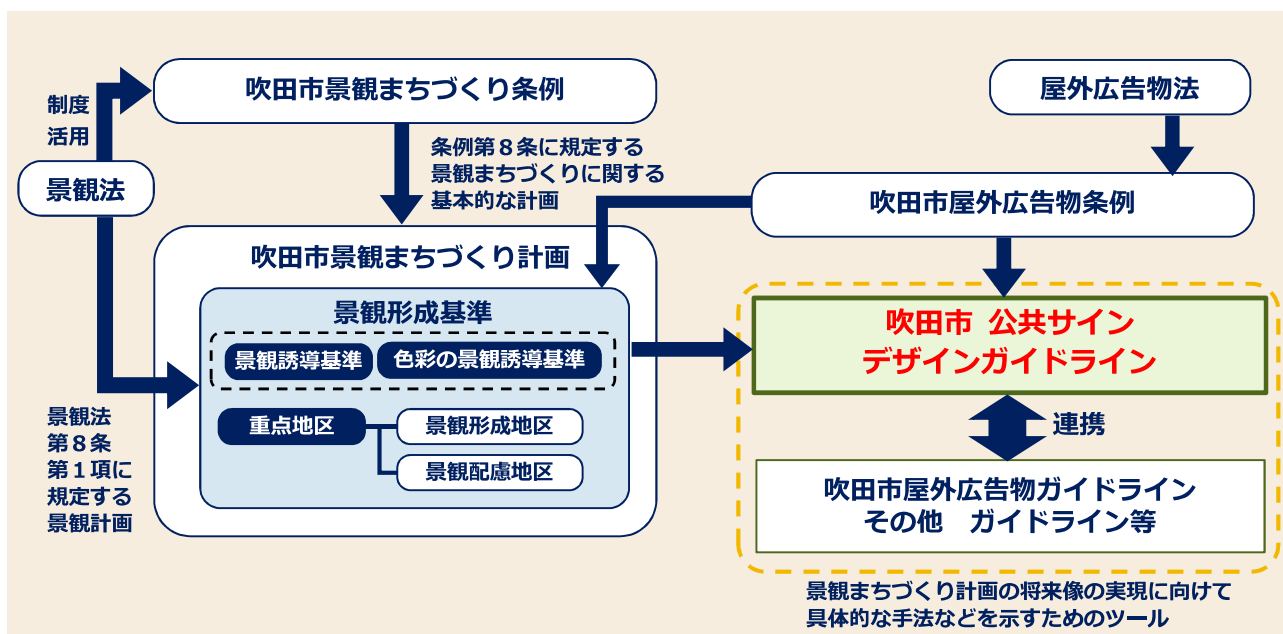
健都のサイン計画では、ライトグレーの地色にイエローのアクセントカラーが使用されています。

施設やエリアで独自のコンセプトが設定されている場合等は景観担当との協議によっては、ガイドラインに合わないことも可能とします。

(P.19) ガイドラインに準拠しない場合の例

1-2 本ガイドラインの位置づけ

本ガイドラインは、吹田市の景観まちづくりの基本計画である「吹田市景観まちづくり計画」で示した、本市が目指す景観の将来像の実現に向けて、公共サインのデザインの視点から設置にあたっての考え方や具体的な手法を示すものです。



〔 吹田市屋外広告物ガイドラインについて 〕

屋外広告物全般について、配慮していただきたい事項をイラストや写真を使って分かりやすく解説したガイドラインです。

建物の壁面に設置する壁面広告物や地上に設置する地上設置型広告物など、屋外広告物の種類別に配慮のポイント、改善イメージや良好事例を紹介しています。また、まちなみに応じた配慮事項等も紹介しています。

公共建築物のサイン計画をする場合は、本ガイドラインとあわせて活用してください。



吹田市ホームページからダウンロードできます

1-3 現状と課題

現状の公共サインは下記に示すような課題があり、ここで示されているようなサインは設置効果が期待されにくく、景観上も好ましくありません。

× 分かりにくさ

- ・ 文字情報のみでレイアウトに工夫がなく内容が理解しにくい
- ・ 外国籍の人や小さい子供に伝わらない



× デザインの不統一

- ・ 施設の種類、設置主体、設置時期によりサインのデザインが異なるため、情報を認識しにくい



× 景観と調和していない

- ・ 周辺の景観に対してサインが目立ちすぎている
- ・ 色彩が景観と調和していない
- ・ サインが無秩序に乱立して設置されている



× メンテナンスが行われていない

- ・ 経年劣化による腐食や褪色等が見られる
- ・ 汚れ等により情報が読み取れない
- ・ 古い情報のまま放置されている



1-4 公共サイン設置の基本方針

必要なサインを効果的に設置するとともに、より良い景観を形成するために基本方針を次のように設定します。

みんなにわかりやすいサイン

- ・ ピクトグラムを中心に、はっきり見えて、簡単でわかりやすい表現にします
- ・ やさしい日本語や多言語表記、点字・音声も活用するなど、必要な情報を、必要な人に適切な方法で届けます

景観と調和するサイン

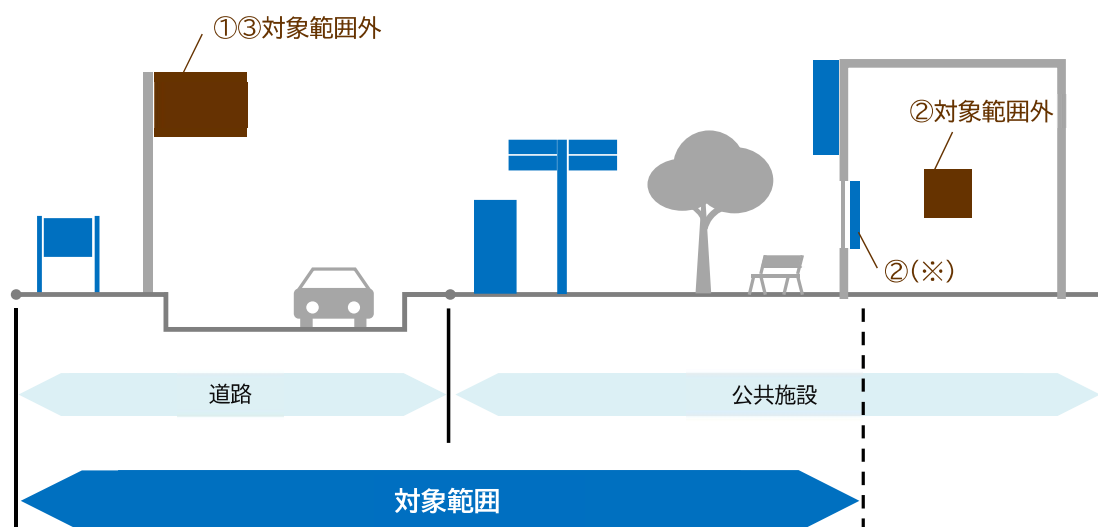
- ・ 同じ場所に乱立するサインの集約化を図ります
- ・ 必要な情報を端的に表示し、不要な情報や効果の少ない表示は適宜見直します
- ・ 広告物の地色は周囲の景観と調和する色にします

安全・安心なサイン

- ・ 耐食性、耐候性のある、丈夫なサインにします
- ・ 設置位置に注意し、サインによってまちに死角ができないように、また通行の妨げにならないようにします
- ・ 適切に維持管理します。また、長い期間仮設で設置することを避け、恒久的な情報は常設での設置を検討します

1-5 ガイドラインの対象範囲

ガイドラインの対象範囲は市内全域とし、吹田市が公共空間に設置する案内看板等の公共サインを対象とします。



【対象範囲外となるもの】

- ①道路管理者が設置する道路標識設置基準に規定された標識など、法令等により設置することや意匠が規定されているもの
- ②建築物の内部に設置されているもの
(※ただし、建物内に設置されている広告のうち、建築物のガラス面の内側から屋外の公衆に向けて表示されているものは、ガイドラインの対象とします。)
- ③他のサインマニュアルに則ったもの

■ ガイドラインの対象

具体的な対象は、以下の表に示すとおり案内サイン、誘導サイン、記名サイン、規制サイン、施設案内サイン、掲示サイン、啓発サイン、催物サイン、祝賀サインとします。

名称	概要	主なサインの事例
案内サイン	地図等のエリア全体の情報を示し、目的地の位置や行き方を示します。	
誘導サイン	通路の分岐点等に設置して、目的地の方向や距離情報を示します。	
記名サイン	エリアや施設の入口などに設置して、目的地であることを示します。	
規制サイン	移動や利用にあたっての禁止や注意事項の情報を示します。	
施設案内サイン	写真・イラスト・文章により場所の由来や説明情報を示します。	
掲示サイン	公共イベントのPR情報や公共関連の告知情報を示します。(掲示物内のポスター、チラシはガイドラインの対象外)	
啓発サイン	交通安全、道徳啓発、マナー、スローガン等の情報を示します。	
催物サイン	公共イベントのPRや日程、誘導情報を示します。	
祝賀サイン	公共の祝賀情報を示します。	

第2章 公共サイン設置の考え方

2-1 設置にあたっての流れ

2-2 デザイン

集約化と配置

形状

素材

設置場所

表示面の高さ

色彩

文字サイズ

書体

ピクトグラム

多言語表記・音声・点字

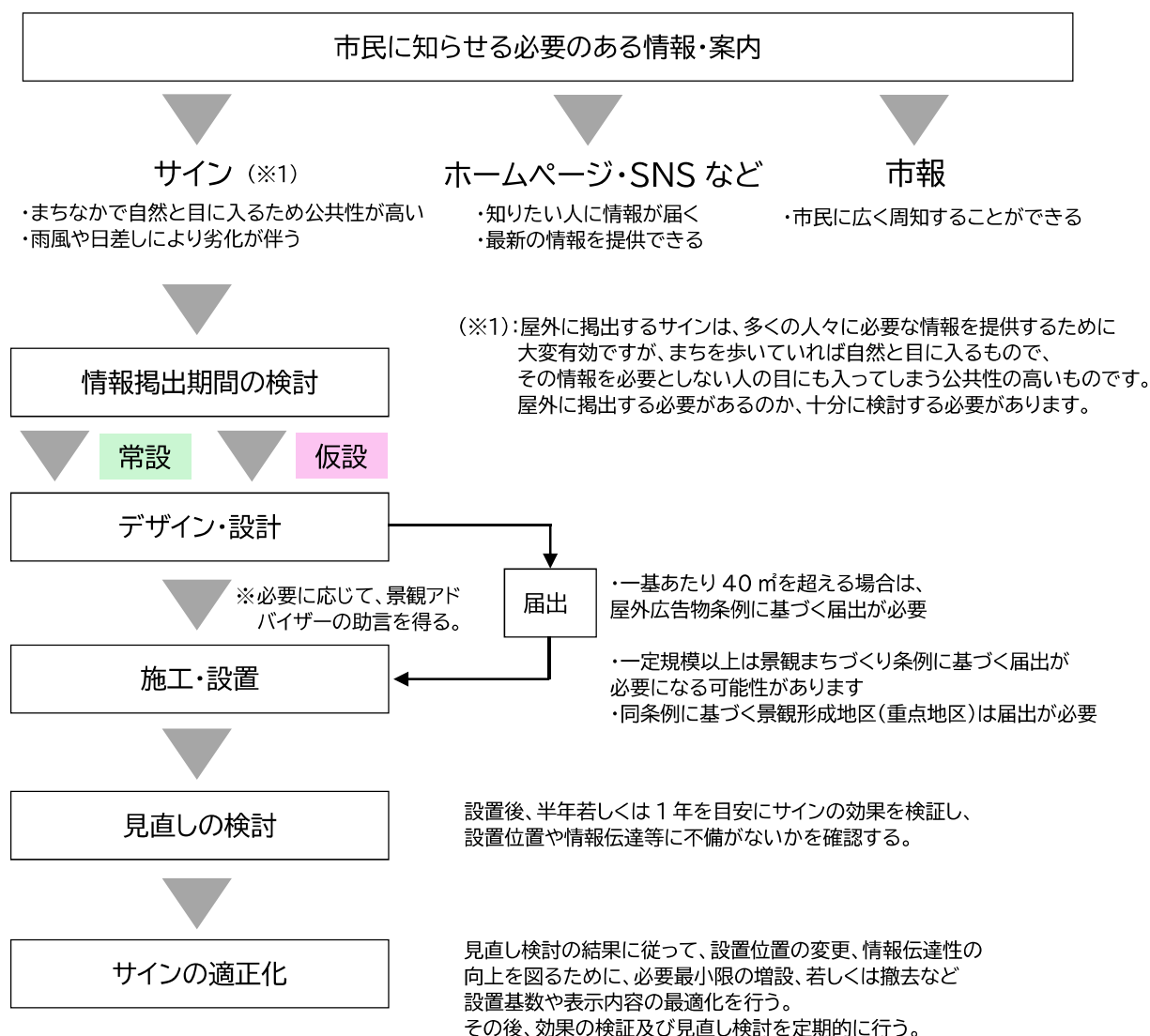
2-3 維持管理

2-4 仮設サインの配慮事項

2-1 設置にあたっての流れ

公的機関から発信される情報は掲示物だけでなく、市報、ホームページ、SNS 等により多くの市民に伝えられています。公共サインはその場所を訪れる人々の多くの目にとまるものですが、公共サインの無秩序な設置は、時間が経過するにつれて情報の伝達、景観との調和、安全性、維持管理等の点で問題が生じることとなります。公共サインを設置して得られる効果、継続的な情報であるか、一時的な情報であるかなど十分検討し、最も効果的な方法で市民へ伝えることが大切です。

また、サインの設置後は定期的に効果の検証及び見直し検討を行い、再配置等による最適化を図ることが必要です。



〔 常設サイン・仮設サインの選定について 〕

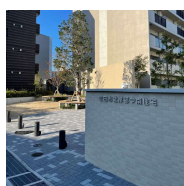
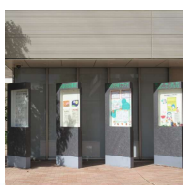
恒久的な情報を掲示するものは基本的に常設サインとして計画します。催物サインなど、一時的な情報を掲示するものは仮設サインとして計画します。

恒久的な情報を示すサインを長期間仮設(劣化しやすい素材と構造)で設置し放置すると、景観阻害の要因になるので注意しましょう。

常設サインの例



基礎があり、耐候性があるサイン



仮設サインの例



立て看板



はり紙



横断幕



のぼり



懸垂幕

内容については、それぞれ下記の項目を確認しましょう。

項目			常設サイン	仮設サイン
2-2 デザイン	集約化と配置	P.13	○	○
	形状	P.15	○	
	素材	P.16	○	○
	設置場所	P.17	○	
	表示面の高さ	P.18	○	
	色彩	P.19	○	
	文字サイズ	P.23	○	○
	書体	P.24	○	○
	ピクトグラム	P.25	○	○
	多言語表記・音声・点字	P.27	○	○
2-3 維持管理	維持管理	P.28	○	○
2-4 仮設サインの配慮事項		P.30		○

○: ガイドラインに準拠

2-2 デザイン

■ 集約化と配置

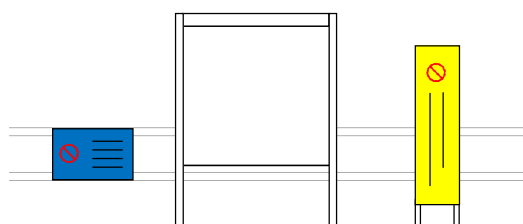
複数のサインを集中して設置していると、まちの景観に影響を及ぼすだけでなく、情報が伝わりにくくなります。1つのサインに情報を集約することで景観への配慮と、効果的な情報伝達が可能となります。

集約化の考え方

- ・ 表示内容が異なるサインが隣接して複数表示されている場合は、原則1つにまとめる
- ・ 不要なサインを見直し、必要なサインを端的に表示する

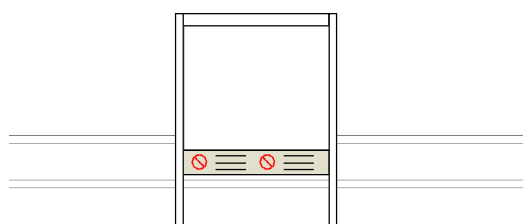
(例)

× 集約前



様々な種類、サイズのサインが混在して複数設置

○ 集約後



周辺案内図や掲示板等の大型サインに禁止・規制系サインの情報を集約

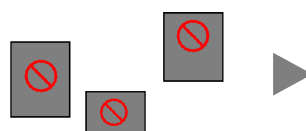
[設置する前に…]

「ゴミは持ち帰りましょう」や「自転車乗り入れ禁止」等の注意喚起や禁止事項を示すサインは、個々に近接して設置されているケースが多く見受けられます。

このような場合には、近接して設置しているこれらのサインを同一板面に整理・集約し、基数を減らすことですっきりした印象を与えることができます。

設置する前に周囲のサインを集約化できないか検討しましょう。

× 悪い例



○ 良い例



配置の考え方

一つにまとめられない場合は、周囲のサインとの調和を図るため、以下のように美しく配置するものとします。

(例)

- 大きさや形をそろえる

× 悪い例

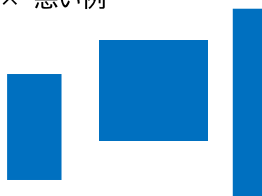


○ 良い例

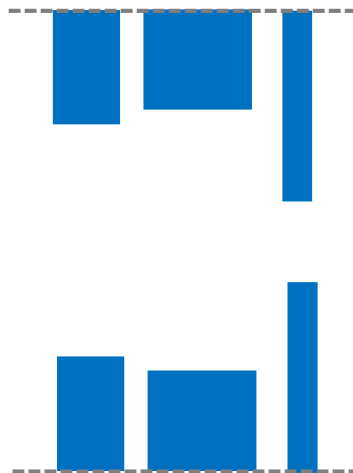


- 高さをそろえる

× 悪い例



○ 良い例



- 同じ間隔で配置する

× 悪い例



○ 良い例



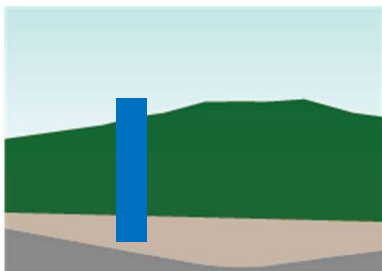
■ 形状

公共サインが周辺景観と調和するよう以下の形状とします。

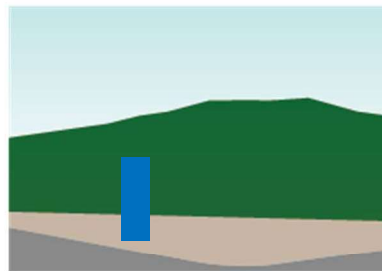
- ・ 良好な景観を阻害しない大きさとする

(例)

× 悪い例



○ 良い例



- ・ 過度な装飾や必然性のないデザインを避け、シンプルな形状とする

× 悪い例



複雑な形状にすると、それぞれが主張しあい統一感がない

○ 良い例



水平垂直でシンプルな形状

■ 素材

設置したサイン本体の劣化等により、景観に影響を及ぼすことを避けるため、サイン本体の素材は以下の観点で選定します。

- ・ 耐久性と安全性に配慮し、長期にわたり利用できる素材を基本とする
- ・ 維持管理の観点から、屋外で年月が経過しても錆びにくい、劣化しにくい素材、適切な維持管理により素材の美しさを保つことができる素材等とする
- ・ 夏場の直射日光により、過剰に熱くならない素材とする
- ・ 耐久性やコスト、加工等の面で優位な素材とする
- ・ 情報内容の更新や変更が必要となった場合に、簡易に対応可能で作業性の高い素材とする
- ・ 貼り紙や落書き等が想定される場所では、防止機能を有した表面仕上げとする

■ 設置場所

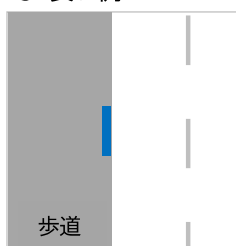
サインは利用者の見やすさに配慮することはもちろんのこと、安全面にも配慮して設置する必要があります。設置に際しては以下の点に配慮してください。また、道路へ設置する際は道路管理者と協議を行うこととします。

- ・ 車椅子使用者が近づくことができるよう、足元に勾配や障害物がない場所に設置する

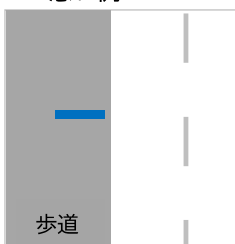


- ・ 道路上に設置する場合は、通行の支障とならないように表示面が道路と並行になるように設置することを基本とする

○ 良い例



× 悪い例

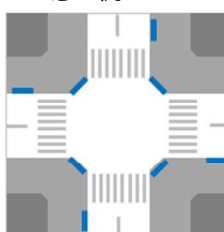


- ・ 道路(車道)の進行方向左側及び交差点の角には設置しない等、サインによる死角が生じないようにする

○ 良い例



× 悪い例

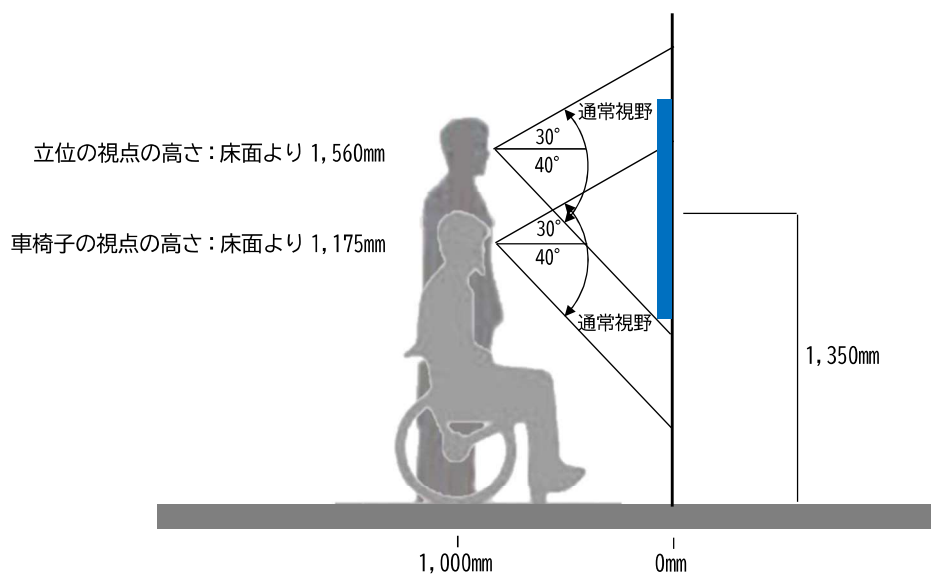


- ・ 夜間でも表示面が確認できるよう、適度な照明の設置や街路灯の近くへ設置をするなど、効果的な設置方法を検討する

■ 表示面の高さ

案内、誘導、施設案内、掲示サイン

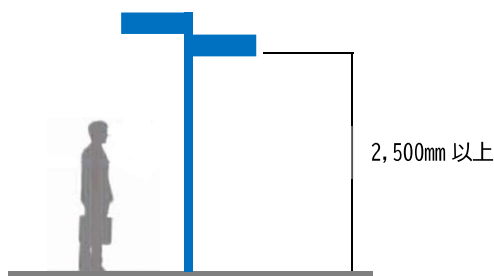
- 立位の利用者と車椅子使用者が共通に見やすい範囲とするため、床面からサイン表示面の中心までの距離を、双方の視点の間である 1,350mm もしくは 1,250mm 程度とする



出典：公共交通機関の旅客施設に関する移動円滑化整備ガイドライン

誘導サイン(歩道空間上に張り出す場合)

- 矢羽型の誘導サインが歩行空間上に張り出す場合は、サインの下端を路面より 2,500mm 以上(歩道の建築限界)確保する



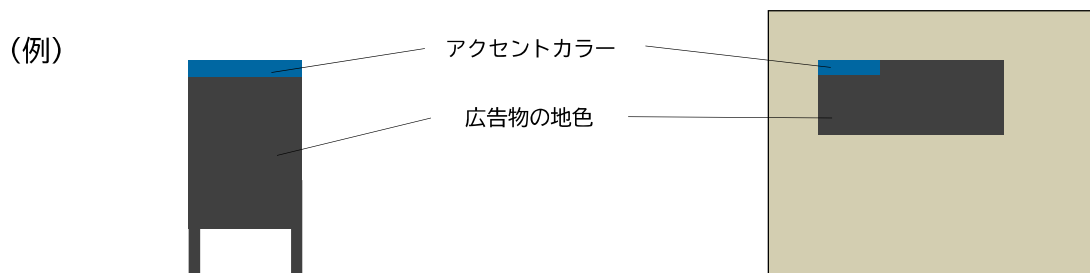
記名、啓発サイン

- エリアや施設の入り口など、できる限り低層部に設置する



■ 本体・表示面の色彩

周囲の景観と調和するような広告物の地色とサインを顕在化させるためのアクセントカラーを設定します。



広告物の地色

広告物の地色は、使用箇所によって2種類を設定します。施設で独自のコンセプトが設定されている場合や歴史的建造物など、独自性を尊重する必要がある場合には他の色を用いることも可能としますが、その場合でも周囲の景観と調和した色を用います。

1. 都市エリアのメインカラー「ダークグレー」
都市部の基本カラー
2. 自然エリアのメインカラー「ダークブラウン」
自然や緑と調和を図る場合のカラー

1. 都市エリア ダークグレー



マンセル値:N3

参考(CMYK 値)
C0 M0 Y0 K74

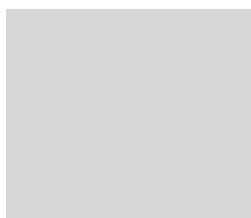
2. 自然エリア ダークブラウン



マンセル値:10YR3/1

参考(CMYK 値)
C0 M15 Y33 K67

※開放的で周辺が比較的明るい色彩を基調とする地域の場合は、以下の地色も候補色に加えて検討する
ライトグレー



マンセル値:N8.5

参考(CMYK 値)
C0 M0 Y0 K15

● ガイドラインに沿わない色彩を使用する場合



(例)北大阪健康医療都市(健都)

健都のサイン計画では、ライトグレーの地色にイエローのアクセントカラーが使用されています。

施設やエリアで独自のコンセプトが設定されている場合等は景観担当との協議によっては、ガイドラインに合わせないことも可能とします。

アクセントカラー

アクセントカラーは、サイン機能によって2種類を設定します。施設で独自のコンセプトが設定されている場合や歴史的建造物など、独自性を尊重する必要がある場合には、アクセントカラーを用いないことや他の色を用いることも可能としますが、その場合でも周囲の景観と調和した色を用います。

1. 基本アクセントカラー「青」:

市が設置するサインの基本カラー

2. 禁止系アクセントカラー「赤」:

禁止系サイン等に用いる、顕在性を重視したカラー

3. アクセントカラーなし:

- ・施設で独自のコンセプトが設定されている場合
- ・歴史的建造物の場合
- ・独自の色がある場合

[アクセントカラーの使用について]

市民や来訪者が市が掲出しているサインであることを明確に識別できるようにアクセントカラーを設定しています。

ただし、施設等の敷地内などでアクセントカラーを使用することで建物との一体感を損ねる場合はアクセントカラーを用いないことも可能とします。

1. 基本アクセントカラー

青



マンセル値:
2.5PB4/10

参考(CMYK 値)
C100 M36 Y0 K36

- ・案内サイン
- ・誘導サイン
- ・施設案内サイン 等

2. 禁止系アクセントカラー

赤



マンセル値:
5R4/12

参考(CMYK 値)
C27 M100 Y83 K3

- ・規制サイン

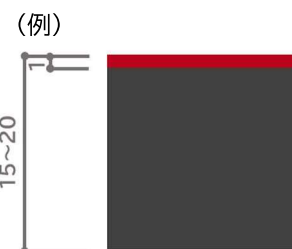
3. アクセントカラーなし



- ・歴史的建造物の記名サイン等

アクセントカラーの幅の目安

アクセントカラーの幅と盤面の高さの比率は、原則として 1:15~20 を目安とします。なお、盤面の形状が著しく正方形から逸脱している場合は、上記の比率は参考程度とします。



色彩の適用除外

着色していない木材・石材などの自然素材や、周囲の環境と連続させるため特に必要と認めるものは、色彩に関する規定の対象外とします。

■ その他 色彩について

地色と図色の考え方

情報伝達の観点から、サイン自体が目立つのではなく、景観に調和しつつ、表示する情報をわかりやすく伝える色彩とすることを基本とします。

- ・ 地色と文字・図柄色の明度差を5程度以上確保する

× 悪い例



○ 良い例



- ・ 明度差を確保できない場合は、周囲を縁取る

× 悪い例



赤色と地色が見分けにくい

○ 良い例



十分なコントラストが確保でき認識しやすい

色の組み合わせ

多様な色覚に配慮し、誰にとってもわかりやすい色の組み合わせとします。

× 悪い例 見分けにくい色の組み合わせ例



青と黒



白と黄色



緑と赤



茶色と緑



紫と青



水色とピンク



橙と緑



黄色と黄緑

● 退色

太陽光や風雨といった自然環境は退色を引き起こす要因となる。サインは屋外に設置されるため、退色を考慮した色使いとすることが望ましい。

※部分的に赤や黄色などを使用する場合は、経年劣化で特に色が薄くなるため、維持管理に注意する



(例)表示面上部の赤文字が消えている

【 色彩について 】

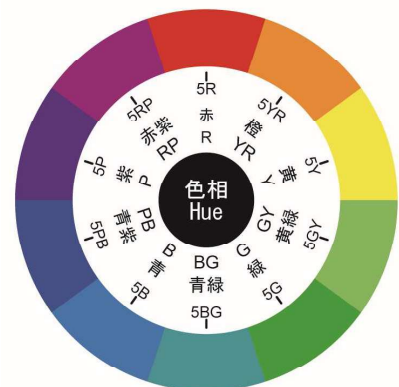
吹田市の色彩の表示方法は、マンセル表色系によるマンセル値を採用しています。この表示方法は、日本工業規格(JIS)の Z8721「色の表示方法-三属性による表示」に採用されているものです。

■色の三属性

・ 色相/Hue

色合いを示します。

R(赤)、YR(黄赤)、Y(黄)、GY(黄緑)、G(緑)、BG(青緑)、B(青)、PB(青紫)、P(紫)、RP(赤紫)の 10 種類の基本色を記号で表記します。それぞれの色相には 1～10 の番号がつけられ、5 番がその色相の代表色となっています。



・ 明度/Value

色の明るさを示します。

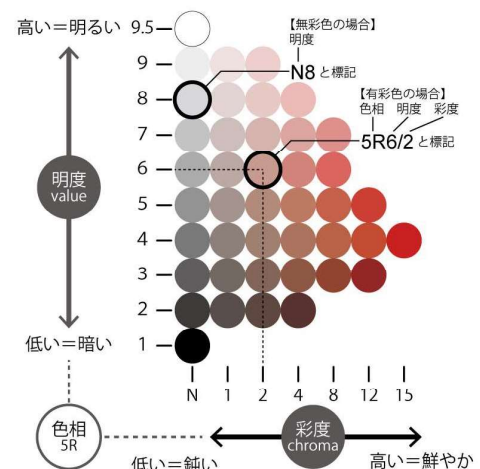
0 から 10 の数字で表現し、数字が大きくなるほど明るくなります。

10 は理想の白、0 は理想の黒を指します。

現実には完全な白と黒をつくることができないので、色票上では 9.5～1.0 が用いられています。

白～黒の色の並びには色味がありません。

このような色を「無彩色(記号 N)」といいます。また色味のある色を「有彩色」といいます。



・ 彩度/Chroma

色の鮮やかさを示します。

0 から 16 程度までの数字で表現し、数字が大きくなるほど鮮やかになります。最高彩度は色によって限界が違うため、色相によって最高の数値が異なります。

無彩色の彩度は 0 です。

■マンセル表色系による色の表示の仕方(マンセル値)

例えば、色相が 5R、明度が 6、彩度が 2 である色は「5R6/2」と表示し、無彩色の場合は、明度を表す数値の前に「N」をつけて「N8」というように表します。

■マンセル値による色彩の表し方と読み方



■ 文字サイズ

高齢者や弱視者など、誰にでも判読しやすいように、視距離に応じた文字サイズ(文字高)を設定します。下表に示す文字高は最低限の目安であり、弱視者の利用を考慮した場合はより大きな文字高(約1.5 倍程度)で表示する等、十分な大きさに配慮することが必要です。

文字の大きさの目安

視距離	和文文字高	英文文字高
40m	160mm 以上	120mm 以上
30m	120mm 以上	90mm 以上
20m	80mm 以上	60mm 以上
10m	40mm 以上	30mm 以上
4～5m	20mm 以上	15mm 以上
1～2m	9mm 以上	7mm 以上

参考資料:「ひと目でわかるシンボルサイン」(公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団)

なお、文字高とは、和文では指定書体の「木」の高さを、英文では指定書体の「E」の高さをいいます。



文字の大きさ設定の考え方

- ・ 自動車運転手に向けたサイン
一般的な視距離が 10～20m なので、和文文字高を 40～80mm 程度以上
- ・ 歩行者等に向けたサイン
一般的な視距離が 5～10m なので、和文文字高を 20～40mm 程度以上
(詳細な文面は視距離を 1～2m 程度と想定し、和文文字高を 9mm 程度以上)

なお、サインの面積が小さい場合や特に強調したい文字がある場合などは、状況に応じて対応してください。

■ 書体

サインに使用する書体は、高齢者や障がい者など全ての人に見やすくわかりやすいものになるよう、ユニバーサルデザインに配慮された書体(UD 書体)を使用するなど、視認性に配慮する必要があります。

和文書体

- 和文書体は、文字の線幅が一定で可読性に優れたゴシック系の書体とし、文字にメリハリがあり、より可読性に優れた角ゴシック体の使用を基本とする

(例)

- UD 新ゴ DB

あいうえおアイウ 吹田市

- ヒラギノ UD 角ゴシック W6

あいうえおアイウ 吹田市

- TBUD ゴシック B

あいうえおアイウ 吹田市

- ガイドラインに沿わない書体を使用する場合



施設やエリアで独自のコンセプトが設定されている場合等は
景観担当との協議によっては、ガイドラインに合わせないこと
も可能とします。

(例)子育て青少年拠点夢つながり未来館(ゆいびあ)

欧文書体・数字

- 見やすく和文のイメージと合った書体を選定する
- 欧文書体は可読性に優れたプロポーションフォント(文字ごとに適した幅が設定されたフォント)を基本とする

(例)

ABCDEF abc Suita City

「Frutiger」や「Helvetica」等の飾りや装飾(セリフ)を持たない「サンセリフ書体」が
可読性に優れているとされています。

■ ピクトグラム

ピクトグラムは、ひと目でその表現内容を理解することができ、言語の種別問わず国際的に通用する情報伝達手段であるため、積極的に活用してください。

ピクトグラムの積極的使用

- ・ 原則として標準案内用図記号(大部分が JIS 規格化)及び JIS のピクトグラムや巻末資料に掲載しているその他のピクトグラムを使用すること

(例)標準案内用記号/JIS



携帯電話使用禁止

一般注意

静かに

(例)その他のピクトグラム(西宮市公共サインデザインマニュアルより)



フンの始末を
してください

地域猫のエサやり
マナー

- ・ 色彩は、「JISZ9103 安全色及び安全標識(2017 年度改正)」により、下記の値を参照する

	色	マンセル値
安全色	赤	8.75R5/12
	青	2.5PB4.5/10
	黄	7.5Y8/12
	緑	5G5.5/10
対比色	白	N9.3
	黒	N1.5

- ・ ピクトグラムのはきはは下記の値を参照する

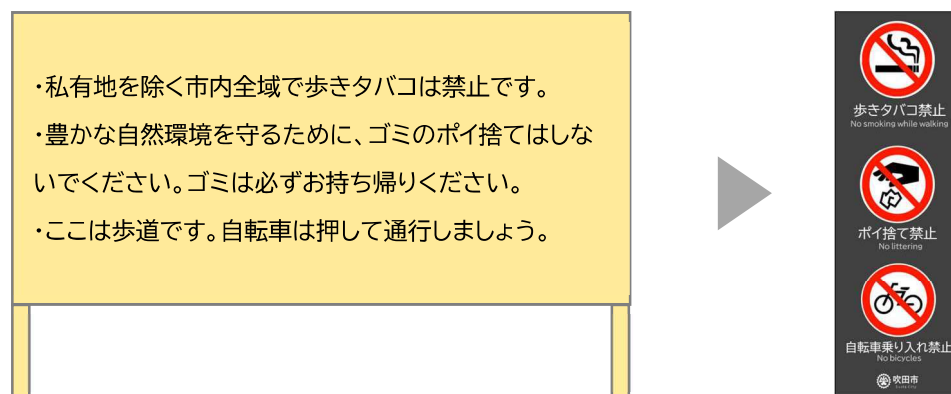
視距離	図記号の基準枠寸法
40m	480mm 角以上
30m	360mm 角以上
20m	240mm 角以上
10m	120mm 角以上
5m	60mm 角以上
1m	35mm 角以上

参考資料:「ひと目でわかるシンボルサイン」(公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団)

必要最小限の文字量

- ・ 文字数の多いサインは伝わりにくいので注意する
- ・ 歩行者が瞬間的に判読できる文字数は15文字程度、自動車の場合は走行速度40km/h の場合で7文字程度とされている。文字数は15文字以内におさめること

(例)



■ 多言語表記・音声・点字

幼児や児童、日本に住む外国人や外国人観光客にも情報が届くよう、わかりやすい表現を用います。

多言語表記

多言語表記は、「観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン(観光庁)」等を踏まえ、以下のとおりとします。

- 日本語と英語の2か国語表記を基本とし、
表現内容を直観的に理解できるピクトグラムを効果的に活用する

(例)



サインの種類	具体例	多言語設定
禁止・注意を促すサイン	・立入禁止、危険 ・禁煙 ・非常時等の情報提供	基本 2 か国語表記。施設特性や地域特性の観点から、中国語又は韓国語等の表記の必要性が高い施設等については中国語や韓国語その他の言語を含めた検討を行う
名称・案内・誘導・位置を示すサイン	・施設名称表示	

(※)ピクトグラムは、視覚的な図による表現で内容の伝達を直観的に行うことができるため、言語の種別を問わず情報を伝達することができる。禁止・注意を促したり、案内・誘導等を示す上で、見た目の分かりやすさが特に重視され、ピクトグラムで十分必要な情報を伝えることができる場合は、ピクトグラムの使用が有効であり、外国語の併記を必ずしも必要としない

参考資料:「観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン」(観光庁)

- 文字で情報提供する場合は、やさしい日本語を活用し、漢字には適切にルビをふるものとする

音声・点字

音声・点字等の案内が必要とされるサインは、事前に利用状況を調査する等、不足のないよう十分検討してください。

2-3 維持管理

■ 維持管理

屋外に設置されるサインは年月の経過により、汚損し老朽化します。そのため、適切に維持管理を行うことが必要です。

管理台帳

維持管理に当たっては、下記の項目を記載したサインの管理台帳を作成の上で管理番号等による管理を行い、保全状況が把握できるようにするものとします。検索、抽出等を速やかにできるよう電子化することが望ましく、各施設管理者が作成する様式を利用することも可能です。また、必要に応じて、管理者(管理している所属)、管理番号をサインに明記します。

記載項目

管理番号	サインの管理者が管理のために附番する番号
管理部署	サインを管理する部署
サイン種別	案内・誘導・記名・規制・施設案内・掲示・啓発・催物・祝賀・その他の中から選択
広告物種類	壁面広告物・地上設置型広告物・塀や柵その他の工作物に設置するもの・仮設サイン(立て看板・はり紙・横断幕・のぼり・懸垂幕)・その他の中から選択
設置場所	設置場所の地番(不明の場合は住宅地図番号など)
表示内容	サインの表示内容
縦幅	サインの縦寸法(地上設置型の場合は地上からの高さ)
設置担当者	サインを設置した担当者名
設置年月日	サインを設置した年月日
施工業者	サインを制作した業者名と連絡先
設置予定期間(終期)	サインを除去する予定年月日
直近の点検日	直近の点検年月日
写真保存場所	サインの状況が分かる写真の保存先(リンク)
設置理由・経緯	サイン設置の理由・経緯を記入

メンテナンスの考え方

設置しているサイン本体の劣化の放置は、景観に影響を及ぼすだけでなく、腐食による倒壊など安全性にも大きな影響を及ぼします。また、陳腐化した表示内容の放置は、サインの利用者に誤った情報を提供することになるため、サインそのものの存在意義を問われることとなります。このような事態を避けるため、メンテナンスの考え方を以下のように示します。

- ・ 定期的に表面のチェックや清掃・点検・修繕を実施する
- ・ 高さ4mを超える広告物については、安全確保の観点から、2年に1回程度有資格者による定期点検を実施する(※)
- ・ 傷や塗装の剥がれ・腐食・褪色等の劣化を確認し、必要に応じてサイン本体の更新を行う
- ・ シート貼りの表示面については、シートの剥がれや褪色を確認し対応する
- ・ 貼り紙や落書き等は、速やかに除去する
- ・ 植栽帯にサインを設置した場合は、植栽の定期的な剪定を行う
- ・ サインの表示面は素材の耐用年数により更新を行う
- ・ サインに記載する情報は、適宜、適切な内容に更新を行う
- ・ 掲載する必要のなくなったサインについては、速やかに除去する

(※)吹田市屋外広告物条例においては、広告板・広告塔の許可期間が2年となっており、更新にあたっては安全点検を義務付けていることからここでは「2年」を目安としています。

【安全管理について】

屋外に設置するサインは風や雨、強い日差しなどの自然環境により、設置直後から劣化が始まります。

これらをそのまま放置しておく、サインが落ちる、飛ぶ、倒れるような事故につながり、過去には老朽化によりサインが落下し、歩行者が重症を負う重大な事故が発生しています。

本市が設置したサインにより、このような事故が発生した場合は、市に責任が問われることとなります。定期的な点検と、劣化の進行を防ぐ保守を欠かさず行うことが必要です。



ガイドブックは国土交通省等のホームページからダウンロードできます



2-4 仮設サインの配慮事項

根本要因の改善を検討する

ポイ捨て禁止等禁止事項の表示や、入口がわかりにくい施設への案内サイン等、一時的な対応のため設置することはやむを得ない場合もありますが、禁止事項を誘発しない空間づくりや、後付けの案内サインの設置を必要としない設計を心がけ、仮設サインが不要となる長期的な改善を目指してください。

常設化を検討する

仮設サインとは一時的な情報を表示するもので、はり紙や立看板、のぼり、横断幕、置看板、バナーなどの形の広告物を指し、耐候性が低く、長期間設置すると汚損しやすく、景観の阻害要因となりやすいものです。仮設サインを長期間設置する場合は、常設サインとして作り直すなどの検討を行ってください。

共通ルール

(1) 設置期間

- ・ 原則 3 か月以内で必要最小限の期間とする
 - ※3 か月を超える場合は管理台帳(P.28 参照)を作成の上で管理番号等による管理を行い、保全状況を把握すること
 - ※必要な掲出期間が終わり次第、速やかに撤去すること
 - ※設置予定期間が過ぎたものが放置されたままとならないよう、管理台帳や位置図により確実な管理を行うこと
- ・ サインに設置期間を表示する
 - ※市民に配布して私有地に設置するサイン(以下「配布サイン」とする)は適用除外

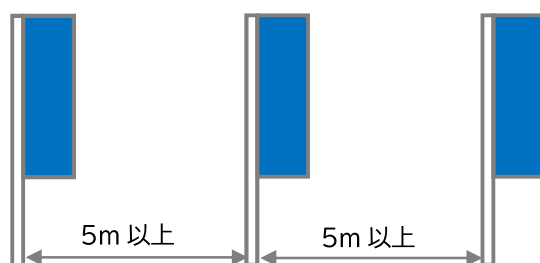
(2) 設置場所

- ・ 死角ができない場所に設置する
- ・ 歩行者の妨げにならない位置に設置する
- ・ 同じ内容がすでに設置されている場所に近接して設置しない

個別ルール

(1) のぼり・バナー

- ・ 色彩は3色までとする。地色を白とした場合は、白を除く3色を使用できる。ただし、ロゴ、マスコットキャラクターは色彩基準の対象外とする
- ・ 表示面積は2㎡以下とする
- ・ 相互間距離を5m以上とする



〔 相互間距離の考え方について 〕

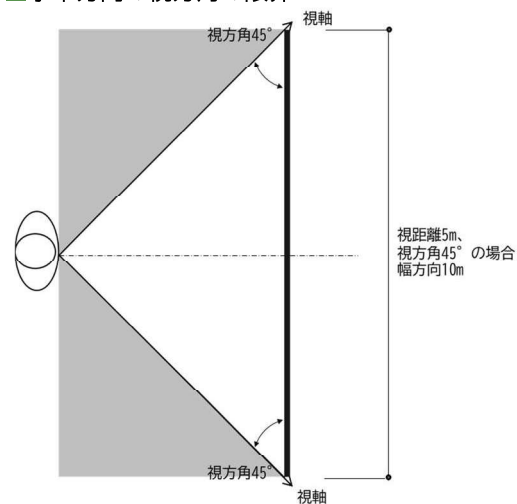
サインの読みやすさを決定づける要因のひとつに、見る人の視軸と視対象のなす傾きの角度、すなわち視方角の問題があります。

人は普通、本などを視方角が直角に近づくように無意識のうちに位置を調整して読んでいます。これが45°以下になると誤読率が増加します。

たとえば、歩行者等に向けたサインで視距離5mの場合、幅方向は10m程度の範囲であれば、可読できる範囲となります。

視方角内に同じ内容のサインを設置しないようにしましょう。

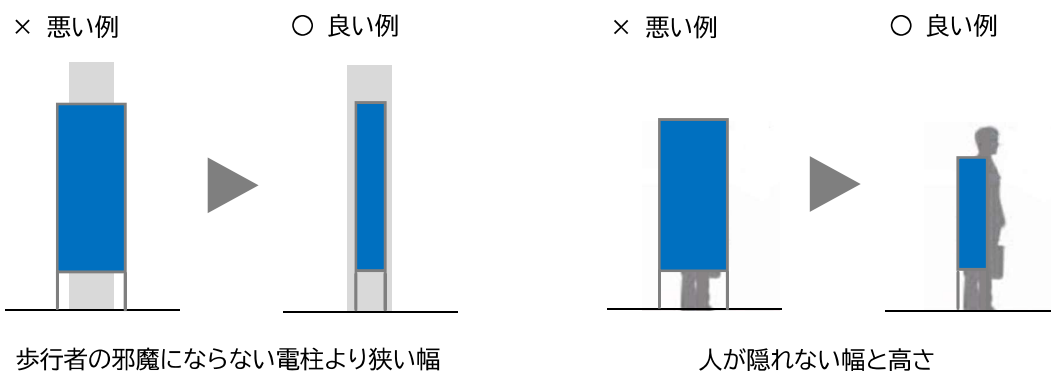
■ 水平方向の視方角の限界



参考資料:「ひと目でわかるシンボルサイン」
(公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団)

(2) 立て看板

- ・ 色彩は 3 色までとする。地色を白とした場合は、白を除く 3 色を使用できる。ただし、ロゴ、マスクットキャラクターは色彩基準の対象外とする
- ・ 電柱に設置する場合は電柱より幅を狭くする
- ・ 周辺から死角にならない幅や高さとする



(3) 横断幕、懸垂幕

- ・ 色彩は 3 色までとする。地色を白とした場合は、白を除く 3 色を使用できる。ただし、ロゴ、マスクットキャラクターは色彩基準の対象外とする

(4) はり紙、はり札

- ・ 窓ガラスの開口部への設置は避ける(屋内から掲出する場合も同様)

(5) その他のサイン

- ・ 共通ルールを遵守する

参考資料

ピクトグラム図集
日・英対応翻訳表

ピクトグラム図集

参照:「標準案内用図記号」(公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団)

公共・一般施設



案内所
Question & answer



案内
Information



病院
Hospital



救護所
First aid



警察
Police



お手洗
Toilets



男女共用お手洗
All gender toilet



男性
Men



女性
Women



飲料水
Drinking water



喫煙所
Smoking area



《備考》
火災予防条例で上記の図記号の使用
が規定されている場所には、上記の
図記号を使用する必要がある。



チェックイン/受付
Check-in/Reception



忘れ物取扱所
Lost and found



ホテル/宿泊施設
Hotel/Accommodation



きっぷうりば/
精算所
Tickets/Fare
adjustment



手荷物
一時預かり所
Baggage storage



コインロッカー
Coin lockers



休憩所/待合室
Lounge/Waiting room



ミーティング
ポイント
Meeting point



銀行・両替
Bank, money exchange



キャッシュサービス
Cash service



海外発行カード対
応 ATM
ATM for overseas cardst



充電コーナー
Charge point



郵便
Post



電話
Telephone



無線 LAN
Wireless LAN



ファックス
Fax



カート
Cart



エレベーター
Elevator

参照:「標準案内用図記号」(公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団)



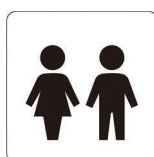
エスカレーター
Escalator



階段
Stairs



乳幼児用設備
Nursery



こどもお手洗
Children's toilet



おむつ交換台
Diaper changing table



ベビーチェア
Baby chair



着替え台
Changing board



洋風便器
Sitting style toilet



和風便器
Squatting style toilet



温水洗浄便座
Spray seat



クローク
Cloakroom



更衣室
Dressing room



更衣室(女性)
Dressing room(women)



シャワー
Shower



浴室
Bath



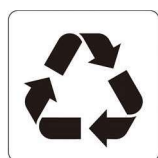
水飲み場
Water fountain



礼拝室
Prayer room



くず入れ
Trash box



リサイクル品回収
施設
Collection facility for
the recycling products



自動販売機
Vending machine

交通施設



航空機/空港
Aircraft/Airport



鉄道/鉄道駅
Railway/Railway
station



船舶/フェリー/港
Ship/ Ferry/ Port



ヘリコプター
/ヘリポート
Helicopter/Heliport



バス/バスのりば
Bus/Bus stop



タクシー
/タクシーのりば
Taxi/Taxi stop



レンタカー
Rent a car



一般車
Car



自転車
Bicycle



レンタサイクル/
シェアサイクル
Rental bicycle / Bicycle
sharing



ロープウェイ
Cable car



ケーブル鉄道
Cable railway



駐車場
Parking



出発
Departures



到着
Arrivals



乗り継ぎ
Connecting flights



手荷物受取所
Baggage claim



税関/荷物検査
Customs/Baggage
check



出国手続/入国手
続/検疫/書類審査
Immigration/
Quarantine/Inspection



駅事務室/駅係員
Station office/Station
staff

■ 商業施設



レストラン
Restaurant



喫茶・軽食
Coffee shop



バー
Bar



ガソリンスタンド
Gasoline station



会計
Cashier



店舗/売店
Shop



新聞・雑誌
Newspapers, magazines



薬局
Pharmacy



理容/美容
Barber/Beauty salon



手荷物託配
Baggage delivery
service



コンビニエンスストア
Convenience store

■ 観光・文化・スポーツ施設



展望地/景勝地
View point



陸上競技場
Athletic stadium



サッカー競技場
Football stadium



野球場
Baseball stadium



テニスコート
Tennis court



海水浴場/プール
Swimming place



スキー場
Ski ground



キャンプ場
Camp site



イヤホンガイド
Audio guide



温泉
Hot spring



公園
Park



博物館/美術館
Museum



歴史的建造物
Historical monument



応用例1
variant 1



応用例2
variant 2



スポーツ活動
Sporting activities



腰掛け式リフト
Chairlift

■ 安全



消火器
Fire extinguisher



非常電話
Emergency telephone



非常ボタン
Emergency call button



列車の非常停止
ボタン
Emergency train stop
button



非常口
Emergency exit



広域避難場所
Safety evacuation area

■ 禁止



一般禁止
General prohibition



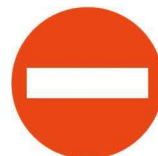
禁煙
No smoking



(※1)
(備考)
火災予防条例で上記の図記号の使用
が規定されている場所には、上記の
図記号を使用する必要がある。



火気厳禁
No open flame



進入禁止
No entry



駐車禁止
No parking



自転車乗り入れ
禁止
No bicycles



立入禁止
No admittance



走るな/
かけ込み禁止
Do not rush



ホームドア:たてか
けない
Do not touch Do not
lean objects on the
platform door



ホームドア:乗り出
さない
Do not lean over the
platform door



さわるな
Do not touch



捨てるな
Do not throw rubbish



飲めない
Not drinking water



携帯電話使用禁止
Do not use mobile
phones



電子機器使用禁止
Do not use electronic
devices



撮影禁止
Do not take
photographs



フラッシュ撮影
禁止
Do not take flash
photographs



着席禁止
Do not sit here



ベビーカー使用
禁止
Do not use prams



遊泳禁止
No swimming



キャンプ禁止
No camping



飲食禁止
Do not eat or drink here



ペット持ち込み
禁止
No uncaged animals

■ 注意



一般注意
General caution



障害物注意
Caution, obstacles



上り段差注意
Caution, uneven access
/up



下り段差注意
Caution, uneven access
/down



滑面注意
Caution, slippery
surface



転落注意
Caution, drop



天井に注意
Caution, overhead



ホームドア:手を挟
まないよう注意
Caution, closing doors



感電注意
Caution, electricity

■ 指示



一般指示
General mandatory



静かに
Quiet please



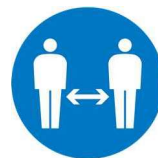
シートベルトを
締める
Fasten seatbelt



左側にお立ち
ください
Please stand on the left



応用例(右側にお
立ちください)
variant(Please stand on
the right)



距離を保って
ください
Keep your physical
distance



マスクを着用して
ください
Wear a facial mask



手を消毒して
ください
Disinfect your hands



換気してください
Please ventilate



(備考)換気してい
ます
Optimum air Ventilation



二列並び
Line up in twos



応用例1
(一列並び)
variant 1(Line up single
file)



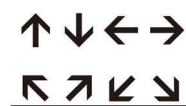
応用例2
(三列並び)
variant 2(Line up in
threes)



応用例3
(四列並び)
variant 3(Line up in
fours)



矢印
Directional arrow



応用例
variants

■ アクセシビリティ



障害のある人が使
える設備
Accessible facility



スロープ
Slope



オスメイト用設備/
オスメイト
Facilities for Ostomy /
Ostomate



コミュニケーション
Communication in the
specified language



コミュニケーション:
筆談対応
Communication:Writing



介助用ベッド
Care bed



カームダウン・
クールダウン
Calm down,cool down



高齢者優先設備
Priority facilities for
elderly people



障害のある人・
けが人優先設備
Priority facilities for
injured people



内部障害のある人
優先設備
Priority facilities for
people with internal
disabilities,heart
pacer,etc



乳幼児連れ
優先設備
Priority facilities for
people accompanied
with small children



妊産婦優先設備
Priority facilities for
expecting mothers



高齢者優先席
Priority facilities for
elderly people



障害のある人・
けが人優先席
Priority seats for
injured people



内部障害のある人
優先席
Priority seats for
people with internal
disabilities,heart
pacer,etc



乳幼児連れ優先席
Priority seats for
people accompanied
with small children



妊産婦優先席
Priority seats for
expecting mothers

■ 禁止サイン・注意喚起サイン・マナーサイン



ハトにエサを
与えないで
ください
Do not feed the
pigeons



フンの始末を
してください
Dog waste must be
cleaned up



放し飼い禁止
Dogs must be on leash



自転車・バイク
放置禁止
Parking bicycles and
motorcycles prohibited



バイク
乗入禁止
No motorcycles



バーベキュー等の
火気使用の禁止
No barbecues or fires



音の出る花火の
禁止
No fireworks with
sounds



遊具周辺禁煙・
歩きタバコ禁止
No smoking around the
playground equipments
and while walking



大音量の音出し
の禁止
No loud noise



商行為の禁止
No soliciting or
commercial activity



夜間花見禁止
区域
Night flower viewing
party
prohibited area



落花後の宴会
の禁止
No flower viewing party
after blossoms have
fallen



大道芸の禁止
Street performance
prohibited



ポイ捨て禁止
No littering



不法投棄監視区域
Area under surveillance
for illegal dumping



受動喫煙防止に
ご協力ください
Protect others
from second hand
smoke



ペットを
すてないで
Do not abandon pets



地域猫のエサやり
マナー
Feeding manners to
the communally owned
cats



園内の草木を
大切にしましょう
Do not damage the
plants



球技は周りに
配慮してください
Be considerate of
others
when playing balls



歩行者優先
Yield to pedestrians



カラスに注意！
Watch out for crows !



スズメバチ
に注意！
Watch out for hornets !



ヘビに注意！
Watch out for snakes !



自転車はおりて
通行してください
Walk your bicycle



原付はおりて
通行してください
Walk your motorcycle



カギ抜き忘れ
注意！
Take out your bike key !



カギかけ忘れ
注意！
Lock up your bike !



飛び出し注意！
Beware of pedestrians !



防犯カメラ
録画中
Security cameras in
operation



自習室あり
Study room available

日・英対応翻訳表

※大文字、小文字の使い分けについては、サインの性質による(下記は表記例)

公園

日本語	英語
公園管理者の指示に従ってください	Follow the directions of the park administrator
バーベキュー等の火気使用の禁止	No barbecues or fires
夜間花見禁止区域	Night flower viewing party prohibited area
遊具周辺禁煙・歩きタバコ禁止	No smoking around the playground equipments and while walking
落花後の宴会禁止	No flower viewing party after blossoms have fallen
バイク乗り入れ禁止	No motorcycles
園内の草木を大切にしましょう	Do not damage the plants
球技は周りに配慮してください	Be considerate of others when playing balls

道路

日本語	英語
土・日一方通行	One-way Saturday・Sunday
飛び出し注意！	Beware of pedestrians !
路上喫煙禁止区域	No smoking area
歩行者優先	Yield to pedestrians

ごみステーション

日本語	英語
ごみステーション	Refuse Collection Point
資源A	Type A Recyclable Refuse
その他のプラ	Other Plastic Materials
透明の袋で出してください	Put them in clear plastic bag
もやさないごみ	Unburnable Refuse
もやすごみ	Burnable Refuse



自転車駐輪場

日本語	英語
一時利用	Day use
カギかけ忘れ注意！	Lock up your bike !
カギぬき忘れ注意！	Take out your bike key !
原付のエンジンをお切りください	Turn off engine
原付はおりて通行してください	Walk your motorcycle
自転車駐車場(路外)	Bicycle Parking (Lot)
自転車駐車場一時利用エリア(路外)	Day use Parking (Lot)
自転車はおりて通行してください	Walk your bicycle
自転車・バイク放置禁止	Parking bicycles and motorcycles prohibited
自転車(原付)放置禁止区域	Parking bicycles (and motorcycles) prohibited area
定期利用	Periodic use
撤去自転車仮置場	Temporary Space for Removed Bycycles
無断・区画外駐車禁止	No Unauthorized Parking
無断駐車禁止	No parking without permission

その他(施設案内系)

日本語	英語
身障者乗降場	Get on and off for Disabled ONLY
多言語案内	Multilanguage Guide
防犯カメラ録画中	Security cameras in operation

その他(施設利用情報系)

日本語	英語
歩きタバコ禁止	No smoking while walking
犬の放し飼い禁止	Dogs must be on leash
犬の放し飼いは条例により禁止されています	Unleashed dogs prohibited by Law
飲食禁止	No eating or drinking
お静かに	Keep quiet
禁煙	No smoking
商行為禁止	No soliciting or commercial activity
大音量の音出しの禁止	No loud noise
大道芸の禁止	Street performance prohibited
注意・禁止事項	Rules and Prohibitions
フンの始末をしてください	Dog waste must be cleaned up
フンの放置は条例により禁止されています	Leaving dog waste prohibited by law
ポイ捨て禁止/ごみは持ち帰りましょう	No littering
夜間・早朝は静かにしましょう	Keep quiet at night and early morning
ハトにエサを与えないでください	Do not feed the pigeons
音の出る花火の禁止	No fireworks with sounds
地域ネコのエサやりマナー	Feeding manners to the communally owned cats
カラスに注意！	Watch out for crows !
スズメバチに注意！	Watch out for hornets !
ヘビに注意！	Watch out for snakes !



吹田市 公共サインデザインガイドライン

吹田市 都市計画部 都市計画室

令和5年(2023年)4月発行

〒564-8550

大阪府吹田市泉町1丁目3番40号

(低層棟2階 窓口214)

電話:06-6170-2337(直通)

FAX:06-6368-9901

メールアドレス:toshikei@city.suita.osaka.jp